

知っていますか、自分のこと・相手のこと

女性の心とからだのメカニズムを知ろう!

Produced by Women's Health Action & CINRA

わたしたちのヘルシー

心とからだの話を始めよう in Mar. 2022

月経トラブル、デリケートゾーンのケア、妊活、避妊、更年期障害、SRHR(セクシャル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)、ジェンダー、フェムテックなど女性特有の健康課題に関するトピックについてお届けする11プログラム。

14:00~ WHA×CINRA オープニングトーク
「見て、知って、楽しみながら考える。わたしたちの心とからだのこと」

14:15~ 心とからだのお悩みは気軽に婦人科に相談しよう! 婦人科の活用術、教えます
対馬ルリ子先生&ともかほさん
Sponsored by ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社

14:45~ 更年期症状は誰にでも起こる可能性がある。職場で考えるべきケアとは?
望月善子先生&井上友美さん&松虫あられさん
Sponsored by 久光製薬株式会社

15:15~ 私のからだは私のもの。ピルを通して考える、自分らしい生き方
三輪綾子先生&山賀琴子さん&濱村春香さん
Sponsored by 富士製薬工業株式会社

15:45~ 自分のからだのことを知って慈しむ! フェムケアのお話
高尾美穂先生&鈴木明子さん&IMALUさん
Sponsored by トップラン・フォーラム株式会社 株式会社ファイブティス

16:15~ 妊娠したい人も、まだわからない人も。今から考える妊活とライフプランニング
丸田英先生&辻愛沙子さん
Sponsored by フェリノール・ファーマ株式会社

16:45~ 「なんとなく体調が悪い」を我慢していませんか? ~漢方とヨガで心とからだを整えよう~
高尾美穂先生&コムアイさん
SPECIAL PARTNER Sponsored by 株式会社ツムラ

17:45~ 新習慣!「乳酸菌」で整えるデリケートゾーンケア講座
原田美由紀先生&バービーさん
Sponsored by 帝人株式会社

18:15~ LISTEN TO YOUR BODY ~貧血・PMSとの上手な付き合い方~
太田郁子先生&栗原恵さん
Sponsored by ゼリア新薬工業株式会社

18:45~ アイドルやアスリートの生理事情華やかな舞台の裏側を知る
竹中夏海さん&鈴木明子さん&木下綾乃さん
Sponsored by インテクト株式会社/ディーバカップジャパン

19:15~ WHA×CINRA クロージングトーク
「3人の医師から女性たちに今伝えたいこと」

イベントアーカイブ 公開中



WHAでは、現代日本における女性特有の健康課題について考えるための様々な取り組みを行っています。WHAについての詳しい情報や、本イベントの詳細についてはこちらからご覧ください。

詳しくはこちら <https://whasympo.com>

女性たちが自分らしく健康的に生きていくためには、生理痛やPMS(月経前症候群)、妊活や更年期障害など「女性特有の健康課題」について若いときから正しい知識をもつことが重要です。そこで今年の「女性の健康週間」に合わせ、3月6日に医療ヘルスケア分野の専門家とタレントやアスリートなどの著名人が協力し、女性の心とからだの健康に関するさまざまなトピックについて話し合うオンラインイベント「わたしたちのヘルシー~心とからだの話を始めよう~ in Mar. 2022」(主催:WHA・CINRA)が開催されました。そして最後のプログラムでは、3人の医師が「いま女性に伝えたいこと」を語りました。

イベントの詳細はこちらから <https://watashitachino-healthy.com/event/online202203/>

我が国では毎年1万人の方が新たに子宮頸がんを診断され、2700名もの女性が命を落とされています。特に20代30代で子宮頸がんが急増、妊娠して初めて診断されることも多く、マザーキラーとも呼ばれています。しかし頸がん検診受診率は20代の人では20%にも届かず、世界各国においても子宮頸がんの予防のために接種されているHPVワクチンの接種率は1%以下という低率です。日本では2013年にHPVワクチンの定期接種が始まった当時、副反応についての報告や様々なマスキミ等の報道もあり、厚生労働省は積極的勧奨の差し控えを決定、8年5ヶ月もの間続きました。その間に世界ではHPVワクチンの有用性に関するエビデンスが集積され、ワクチンを打った人でも打たなかった人でも同じ様な症状が出てくるということが分かり、昨年11月に積極的勧奨の差し控えを終了、HPVワクチンを積極的に進めていく方針です。積極的勧奨が中止期間に接種できなかった女性にキャッチアップ世代に接種の機会が提供されています。またワクチン接種を受けていない女性の子宮頸がん検診を強化していくことも大切です。



日本でもぜひ子宮頸がんという病気やその予防に有効なHPVワクチンの接種について、正しい情報を知っていただきたいと思っています。

「子宮頸がんを予防。HPVワクチン定期接種について」



慶應義塾大学名誉教授、元内閣官房参与
よしむら たかのり
吉村 泰典氏

日本産科婦人科学会理事長、日本産婦人科学会理事長を歴任した不妊治療のスペシャリスト。日本の産科医療と女性・子どもたちを支える活動に取り組む。一般向けの著書も多数執筆。

正しい知識が未来を変える、女性特有の健康問題

5.5組に1組のカップルが不妊検査や治療を受けた経験有り
4月から保険適用拡大へ

ごく一部に保険適用されていた不妊治療ですが、4月からはほぼ全ての不妊治療に保険適用が認められます(年齢・回数の上限あり)。日本では5.5組に1組のカップルが実際に不妊の検査や治療を受けたことがあり、最近では14人に1人が体外受精で妊娠し出産しています。すなわち不妊症というのは、ごくありふれた病気です。尚、不妊治療の標準的な診療の流れですが、受診して男女それぞれ調べます。異常が判明した場合は不妊の原因を治療し、原因不明でも妊娠しやすくなるために様々な治療を組み合わせて行います。体外受精や体外受精胚移植の治療が必要になることが非常に多いのも事実です。体外受精胚移植ですが、今までも自費だったので本当にお金がかかりました。これからの不妊症治療

「不妊検査や治療を受けた経験有り」

困ったときは全国のフェムシブドクターへ
【一般財団法人日本女性財団】のHPはコチラ

私が医師になったのは、男女雇用機会均等法の直前の頃です。その後、日本でも徐々に女性も働き続けられるようになり、私も気がつかず、人生の中で急に困った事態になることもあり、その時はいつでも相談に来てほしい。何でも相談に乗りますよ、解決に結びつけてくれる専門家や支援者にもつながりますよ、と全国でフェムシブドクターたちが立ち上がっています。私たちが誰にも相談できず、悩んだことがあったからです。私たちは皆、互いに助け、助けられる「助け合いの輪」を作っているのです。ウィメンズ・ヘルス・アクションが、沢山の人の助け合いの輪になって、助けよう、医療者が様々なことを願っています。



NPO法人女性医療ネットワーク 理事長、一般財団法人日本女性財団 理事長
ともま りるこ
対馬 ルリ子氏

自身のクリニックを持つとともに、女性の総合医療を実現するため、NPO法人で啓発活動や政策提言を行う。2020年には女性支援団体をサポートする財団を新たに設立した。

私たちは「ウィメンズ・ヘルス・アクション」の活動を応援しています。



女性の「生きる」に漢方ができること。

仕事も、家族も、自分も、全部だいじ。だから、今日もがんばりたい。いつも笑顔で、元気で、心とカラダのバランスを保ちながら、毎日が健康でありたいと願う。そんな忙しい女性のために、漢方ができることがあるかもしれません。あなたがつらいとき、手を伸ばしたときに、漢方はあなたのそばにいます。

漢方をもっと身近に! 漢方のポータルサイト

クレイ・グンキ・ハッピーをずっと
Kampo View
漢方ビュー 検索

